連絡先ソース

- オンプレミス連絡先ソース オプション，1 ページ

オンプレミス連絡先ソース オプション

オンプレミス展開では、クライアントがユーザ情報のディレクトリ検索を解決するために次の連絡先ソースのいずれかを要求します。

- LDAP：社内ディレクトリを使用している場合は、次のLDAPベースの連絡先ソース オプションを使用してディレクトリを連絡先ソースとして設定できます。
  - 拡張ディレクトリ統合（EDI）：Cisco Jabber for Windows を展開する場合に、このオプションを選択します。
  - 基本ディレクトリ統合（BDI）：Cisco Jabber for Mac、iOS、および Android を展開する場合に、このオプションを選択します。
- Cisco Unified Communications Manager User Data Service（UDS）：社内ディレクトリを使用していない場合は、このオプションを使用できます。

IM アドレス スキーム

Cisco Jabber 10.6 以降は、example-us.com や example-uk.com のユーザのようにドメインが同じプレゼンス アーキテクチャ上に存在する場合は、オンプレミス展開用の複数のプレゼンス ドメイン アーキテクチャ モデルをサポートします。 Cisco Jabber は Cisco Unified Communications Manager IM and Presence 10.x 以降を使用して柔軟な IM アドレス スキームをサポートします。 IM アドレス スキームは Cisco Jabber ユーザを識別する Jabber ID です。

マルチ ドメイン モデルをサポートするには、展開のすべてのコンポーネントに次のバージョンが必要です。

- Cisco Unified Communications IM and Presence サーバ ノードとコール制御ノード バージョン 10.x 以降。

- Windows、Mac、IOS、および Android のバージョン 10.6 以降で実行中のすべてのクライアント。

次のシナリオでは、複数のドメイン アーキテクチャを使用している Cisco Jabber を展開するだけです。

- Cisco Jabber 10.6 以降は、すべてのプラットフォーム（Windows、Mac、IOS、および Android（DX シリーズなどの Android ベースの IP 電話を含む））上の組織内のすべてのユーザに対する新しいインストールとして展開されます。
- プレゼンス サーバ上でドメインまたは IM アドレスを変更する前に、Cisco Jabber がすべてのプラットフォーム（Windows、Mac、IOS、および Android（DX シリーズなどの Android ベースの IP 電話を含む））上のすべてのユーザに対してバージョン 10.6 以降にアップグレードされます。

詳細プレゼンス設定で使用可能な IM アドレス スキームは次のとおりです。

- UserID@[Default Domain]
- ディレクトリ URI

UserID@[Default Domain]

User ID フィールドは LDAP フィールドにマップされます。 これがデフォルトの IM アドレス スキームです。

たとえば、ユーザの Anita Perez は、アカウント名が aperez で、User ID フィールドが sAMAccountName LDAP フィールドにマップされます。 使用されるアドレス スキームは aperez@example.com です。

ディレクトリ URI

ディレクトリ URI は、mail または msRTCSIP-primaryuseraddress LDAP フィールドにマップされます。 このオプションは、認証用のユーザー ID に依存しないスキームを提供します。

たとえば、ユーザの Anita Perez は、アカウント名が aperez で、mail フィールドが Anita.Perez@domain.com で、使用されるアドレス スキームが Anita.Perez@domain.com です。

ディレクトリ サーバ

Cisco Jabber では、次のディレクトリ サーバを使用できます。

（注） Cisco Jabber for Mac、Cisco Jabber for iPhone and iPad、Cisco Jabber for Android は、ディレクトリの統合で LDAPv3 標準をサポートしています。 この標準をサポートするディレクトリ サーバは、これらのクライアントと互換性がある必要があります。

- Windows Server 2012 R2 の Active Directory Domain Services

- Windows Server 2008 R2 の Active Directory Domain Services
- Cisco Unified Communications Manager User Data Server（UDS）

  Cisco Jabber は、Cisco Unified Communications Manager の次のバージョンを使用して UDS をサポートします。

  Cisco Unified Communications Manager バージョン 9.1(2) 以降と COP ファイルの `cmterm-cucm-uds-912-5.cop.sgn`。

  Cisco Unified Communications Manager バージョン 10.0(1)。 COP ファイルは必要ありません。

- OpenLDAP
- Active Directory Lightweight Directory Service（AD LDS）または Active Directory Application Mode（ADAM）

制約事項

OpenLDAP、AD LDS、または ADAM とのディレクトリ統合では、Cisco Jabber コンフィギュレーションファイルで固有のパラメータを定義する必要があります。 詳細については、「*LDAP ディレクトリ サーバ*」を参照してください。

連絡先の写真の形式と寸法

Cisco Jabber で最適な結果を得るには、連絡先写真を特定の形式と寸法にする必要があります。 サポートされる形式と最適な寸法を確認してください。 クライアントが連絡先の写真に対して行う調整について説明します。

連絡先の写真の形式

Cisco Jabber は、ディレクトリ内の連絡先写真に関する次の形式をサポートしています。

- JPG
- PNG
- BMP

重要

Cisco Jabber では、GIF 形式の連絡先写真のレンダリングを向上させるための変更は適用されません。 その結果、GIF 形式の連絡先写真が不正にレンダリングされたり最適な品質にならない場合があります。 最適な品質を得るには、連絡先写真として PNG 形式を使用します。

連絡先の写真の寸法

ヒント　連絡先写真の最適な寸法は、アスペクト比 1:1 の 128 x 128 ピクセルです。

次の表に、Cisco Jabber での連絡先写真のさまざまな寸法を示します。

参照先	寸法
音声コール ウィンドウ	128 x 128 ピクセル
次のような招待やリマインダ • 着信コール ウィンドウ • 会議リマインダ ウィンドウ	64 x 64 ピクセル
次のような連絡先のリスト • 連絡先リスト • 参加者リスト • コール履歴 • ボイスメール メッセージ	32 x 32 ピクセル

連絡先の写真の調整

Cisco Jabber は次のように連絡先写真を調整します。

- サイズ変更：ディレクトリ内の連絡先写真が 128 x 128 ピクセル以外のサイズである場合、クライアントによって写真のサイズが自動的に変更されます。 たとえば、ディレクトリ内の連絡先写真が 64 x 64 ピクセルであるとします。 Cisco Jabber でディレクトリから連絡先写真を取得すると、その写真のサイズが 128 x 128 ピクセルに変更されます。

  ヒント　連絡先写真のサイズ変更により、最適な解像度が得られない場合があります。このため、クライアントによって連絡先写真のサイズが自動的に変更されないように、128 x 128 ピクセルの連絡先写真を使用してください。

- トリミング：Cisco Jabber では、正方形以外の連絡先写真を正方形のアスペクト比（つまり、幅が高さと同じであるアスペクト比 1:1）に自動的にトリミングします。
- 縦方向：ディレクトリ内の連絡先写真が縦方向である場合、クライアントは上端から 30 %、下端から 70 % をトリミングします。

たとえば、ディレクトリ内の連絡先写真が幅 100 ピクセル、高さ 200 ピクセルである場合、アスペクト比が 1:1 となるように Cisco Jabber では高さから 100 ピクセルをトリミングする必要があります。 この場合、クライアントは写真の上端から 30 ピクセルを、写真の下端から 70 ピクセルをトリミングします。

- 横方向：ディレクトリ内の連絡先写真が横方向である場合、クライアントは両方の側から 50 % をトリミングします。

  たとえば、ディレクトリ内の連絡先写真が幅 200 ピクセル、高さ 100 ピクセルである場合、アスペクト比が 1:1 となるように Cisco Jabber では幅から 100 ピクセルをトリミングする必要があります。 この場合、クライアントは写真の右側から 50 ピクセルを、写真の左側から 50 ピクセルをトリミングします。